



2022年(令和4年)

4月

No.726 since1961

# 広報 しばた

春風に吹かれて香る しばたの桜

暖かい日差しを浴びて、今年も町が桜色に染まります

# 令和4年度 施政方針

◎柴田町の未来像であるガーデンシティ構想の  
実現に向けて、果敢にチャレンジ◎

柴田町長 滝 口 茂

## アフターコロナに おける新たな変化

ここ3年間にわたるコロナ禍の中で、私たちはこれまでとは全く異なる日常生活を余儀なくされました。感染防止の観点から、人との接触をなるべく避ける対策を求められ、不要不急の外出の自粛をはじめ、飲食店の休業や営業時間短縮の要請、イベントの中止などの措置がとられたところです。その結果、外食産業や旅行業、運輸業などの業績が悪化したことに加え、海外からの観光客が途絶えたことで、インバウンドに支えられてきた面もある我が国の経済は、打撃を受けることになりました。

一方で、コロナ禍を契機に、未来を切り開く新たな流れが胎動しています。一番の変化は、身近なところでデジタル化が急速に進ん

でいることです。都市と地方との地域間での情報格差が解消され、テレワークやリモートでの会議が普及しました。場所や時間にとらわれない働き方ができるようになったことで、自然豊かな地方で暮らしながら、子育てをしたいという若いファミリー層も増えていきます。

また、未来の姿を見据えて国際的な動きとなつているのが「SDGs」です。「誰

一人として取り残さない」ことを基本理念に、2030年までに17の目標を達成し、持続可能な世界を実現しようとする世界共通の取り組みです。

我が国においてもこの「SDGs」を視野に入れながら、目指すべき新しい社会として「ソサエティ5.0」を提唱しています。誰もが快適で活力に満ちた、質の高い生活を送ることができ、人間中心の社会の実現を目指そうとするものです。

## 柴田町の未来像を 描く

柴田町も、こうした未来社会の姿を念頭に置きながら、令和5年度から令和8年度までの4年間に取り組む「第6次柴田町総合計画 後期基本計画」を策定し、地球温暖化、加速する少子高齢化や人口減少、仙台都

市圏への人口集中、老朽化する社会インフラなどの社会問題や地域課題の解決に向けた方向性を示してまいります。

デジタル化の進展でますます便利になり、インターネットで世界中の人と情報がつながる未来の都市モデルは、自然が豊かでゆったりとした時間が流れる地方にこそあるのではないかと思っております。柴田町としては、便利で快適でコンパクトなガーデンシティ構想を地方都市の新たな都市モデルとしてプランニングしていきたいと考えております。

令和4年度におきましては、新型コロナウイルス感染症や水害、地震などの自然災害への対策を最重要課題に設定し、これまでのリスク管理や経験則を生かしながら対応してまいります。令和4年度の主な施策としては、柴田町の新たな都市モデルとなる四季折々に



令和3年度3月会議

自然の彩りが心地よい、歩いて楽しいガーデンシティ構想の実現を目指し、「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」、「移住・定住を促進するための仕事づくりや子育て環境の整備」、

「将来のまちづくりを担う子どもたちの育成」、「『花のまち柴田』のブランド化による稼ぐ力の醸成」、「行政のデジタル化と官民連携や広域連携の推進」の、五つの観点からアプローチをしております。

## 1 歩いて暮らせる コンパクトな まちづくり

柴田町にふさわしいコンパクトなガーデンシティ構想の実現を想定した、都市計画マスタープランと立地適正化計画を策定中です。この計画の中に、槻木駅エリア、船岡駅エリア、船迫エリアに、新たな市街地の

形成を目指す東船岡駅エリアを加えた四つのエリアと農村部とをシームレスに結ぶ、「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造を盛り込みたいと考えています。

この四つのエリアを、行政、商業、文化の主となる都市拠点、医療、福祉、住宅が集積した地域生活拠点とし、今後、さらに生活の利便性を高める都市機能や災害リスクの少ない、居心地の良い居住空間を整備し、コンパクトで魅力的なまちをつくってまいります。

ガーデンシティ構築の実現を図る上で、具体的に取り組まなければならない都市デザインの要素は四つです。

### 安全安心なまちづくり

一つ目の要素として、最優先に取り組むのが安全安心なまちづくりです。

これまで、令和元年の台風19号による水害を教訓に、



船岡城址公園山頂からの眺望

排水路や側溝の改修、河川の浚渫や排水ポンプ車の購入、常設ポンプの増設などを行ってきました。令和4年度は新たに、大雨時に松ヶ越地区からの避難道路を確保するために、道路改良に着手します。

また、東船迫地区の水害対策として、古河水門付近の堤防の上を横断する排水施設を敷設するほか、引き続き、緊急浚渫推進事業の実施や局地的に冠水被害に見舞われる地区の水害対策の強化に努めてまいります。鷺沼排水区雨水整備事業につきましても、鷺沼排水区5号調整池整備工事を令和5年度の完成を目指して加速させてまいります。

農業水利施設の整備につきましても、ため池の修繕や排水機場の機械設備の更新工事に取り組めます。

国においては、下名生地区における阿武隈川の堤防の拡幅や前田排水樋管の改築、県においては、西船迫

沢砂防堰堤事業を予定しています。

しかし、最近の短期間で記録的な大雨が降る気象状況のもとでは、治水や砂防施設の整備だけで水害を防ぐには限界があります。自分の命は自分で守り、行政はそれを全力で支援するといった「水防災意識社会」の構築にも力を入れていくことが必要になります。

災害発生時に住民一人一人が自発的に適切な避難行動がとれるよう、デジタル防災行政無線や防災ラジオなどにより、迅速に情報を伝達してまいります。さらに、自主防災組織を中心とした防災・減災活動の活性化や「マイ・タイムライン」の普及に努め、「逃げ遅れゼロ」を目指してまいります。

交通安全や防犯対策につきましても、重点的に通学路の危険箇所の解消を図るとともに、防犯灯3千基を最新の明るいLED灯に交

換し、夜間における交通安全と防犯対策の強化を図ります。また、地域住民による見守りのほか、防犯実動隊や見守り隊、交通指導隊による巡回パトロールや通学路での街頭指導を行い、地域の目による交通安全と犯罪抑止力の強化に取り組んでまいります。

### 快適な環境の創造

二つ目の要素は、自然と人が共生できる環境の創造です。

SDGsや地球温暖化、カーボンニュートラルなどの環境問題に対応し、柴田町の持続的な発展に向け「第3次柴田町環境基本計画」を策定してまいります。身近な生活環境の整備については、老朽化した道路や橋などの維持管理を徹底してまいります。町道富沢16号線の早期完成に向けて、国の交付金の獲得に全力を挙げるとともに、町道槻木145号線における狭あい

道路への取り組みやさくら歩道橋のアーチ橋の再生、11カ所の農道橋の安全点検などを行い計画的な改修に努めてまいります。

県においては、主要地方道白石柴田線（旧国道4号）船岡工区の改修や主要地方道亘理村田線成田工区における道路改良に着手することになっていきます。

水道事業につきましては、老朽管対策として西船迫四丁目地区や松ヶ越一丁目地区に加え、新たに中名生西洞明田地区、船岡東一丁目地区の配水管布設替工事をを行います。

下水道事業につきましては、船岡上大原地区、上名生新大原地区に加え、剣崎二丁目地区の汚水管渠の整備に取り組みます。

ほ場整備事業につきましては、新たに入間田地区を県の事業採択に加えていただけよう働きかけてまいります。

公共施設を快適に利用し



新型コロナワクチン集団接種



太陽の村「ふわふわドーム」

ていただくために、山下町営住宅の老朽箇所や改修や地域福祉センターや生涯学習センターに設置されている洋式トイレを計画的に洗浄機能付きトイレへ切り替えてまいります。

### 都市緑地の整備

三つ目の要素は、生活に潤いをもたらす都市緑地の整備です。

身近な公園や緑地は、コロナ禍の中で息抜きや軽い運動を行う場所として見直されています。新たな公園施設長寿命化計画を策定し、遊具の設置や園路、花壇、トイレなどの整備を行ってまいります。

槻木の南浦公園については、子どもたちが楽しく遊べる公園としてだけでなく、地域の行事などを通して多くの人が交流する場としてリニューアルが図れないか、将来の公園のあり方や管理の方法について検討してまいります。

太陽の村では、斜面を利用した大型遊具の設置について測量費を予算計上し、太陽の村の魅力をさらに向上させてまいります。

### 町民の社会参加

四つ目の要素は、一人一人が健康で主体的に社会参加ができるようにすることです。

安全で快適なまちを舞台に住民主体の活動が活発化していくことは、まちが活気づく原動力にもなります。そのためにも、多様な世代が心身ともに健康で、自分らしく社会に参加し、活躍できるようにまことにしていかなければなりません。

安心ネットの構築のために、地域医療体制の充実や地域包括ケアシステムの深化、フレイル対策などを実施するとともに、若者や子育て世代を含む地域全体でより住みやすい地域の形成を目指す、新しいコミュニティづくりなどを支援して

まいります。

緊急を要する新型コロナウイルス ウイルス感染症に係るワクチン接種につきましては、一般高齢者への3回目の接種を2月1日から開始しております。順調に行けば6月末までには、18歳以上で追加ワクチン接種を希望する方全員に対し、ワクチン接種を終える予定です。

## 2 移住・定住を促進するための仕事づくりや子育て環境の整備

地方が抱える最大の課題である人口減少問題を克服するためには、関係人口の増加や移住・定住対策の充実を図ることが大変重要になってきます。特に、若者にとって移住の決め手とな

るのが、魅力的な働き場所、教育や子育て施策の充実、整備された情報環境です。

「地方へ移住したい」、「地方で働きたい」という若者の新たな動きを見据え、柴田町の魅力や移住・定住に際しての支援施策をきめ細かに情報発信してまいります。また、地元の住民の視点で柴田町の魅力を発見し、磨きをかけることができるような市民ライターを養成してまいります。

町としては、主に若者が都会で培った技術やデザイン力などを生かして仕事おこしができるような環境を整備します。また、地域の資源を活用して新たなビジネスを生み出そうとする地域おこし協力隊員や起業意欲を持つ若者を支援し、移住・定住につなげてまいります。

若いファミリー層にとって、柴田町にゆとりを持って子育てができる環境が整備されているかどうかは、



一人一台のパソコンを使った授業



小規模保育施設「くまの子」

移住に踏み出す際の大きな「カギ」となります。そのため、「(仮称)第2期柴田町子どもの未来応援プラン」を策定し、自然豊かな中で子どもたちが心身ともに健やかで、たくましく育つことができる環境を整備してまいります。

新規事業としては、安心して子どもを産み、育てることができるよう、子ども家庭支援員を配置し、それぞれの家庭にあつたサポートを行います。また、保育所などにおいてデジタル化を進め、保護者へのきめ細やかな情報提供や保育士等の業務の効率化を図ってまいります。

待機児童の解消に向けては、令和5年4月に、民間事業者が0歳から5歳までを対象とした定員60人の保育所を槻木四日市場地区において開所できるように国と協議しておりますので、町も協議して支援してまいります。

## 3 将来のまちづくりを担う子どもたちの育成

これまで、児童・生徒の「学力や学習意欲の向上」に向けた取り組みの一環として国のGIGAスクール構想に基づき、情報機器を整備してまいりました。今後は、デジタル教材や動画などを効果的に活用し、子どもたちがお互いに協力し合い、主体的に学ぶ力を育ててまいります。

英語学習については、令和4年度も小中学校に外国語指導助手を4人配置し、ふるさとの良さについて英語で情報発信ができる「SAKURA PROJECT」や「放課後英語楽交」を引き続き実施してまいります。ここで学んだ英語力を使って、外国人観光客をおもてなしする「JOV活動」に参加し、まちづくりに貢献

することで、柴田町への愛着や誇りを育む、いわゆる「シビックプライド」を醸成してまいります。

さらに、学校教育環境の整備については、子どもたちから要望があった、学校遊具やテニス用オムニコートを整備してまいります。加えて、古くて狭くなった机を2カ年で、新しい規格に基づいた机に取り替えるなど、更なる教育環境の充実を図り、将来のまちづくりを担う子どもたちの育成に努めてまいります。

#### 4 「花のまち柴田」のブランド化による稼ぐ力の醸成

柴田町ではこれまで、「花のまち柴田」をテーマに観光戦略やプロモーション活動を国内外に展開し、ふるさと納税、公共施設へのネーミングライツの導入による民間資金の調達を

図ってきました。

そうした取り組みが功を奏し、令和4年1月末現在のふるさと納税の寄附金は、前年の同時期を超えた金額となっております。令和2年度で集まった約17億円の寄附金については、学校の校舎、体育館、武道館などの整備をはじめ、トイレの洋式化や水害対策などに充てたところです。

一方で、我が国の経済を支える大きな柱の一つとなっていたインバウンド観光は、コロナ禍で今後の見通しがたっておりません。しかし、新たな観光トレンドの芽も生まれています。近場で観光スポットを巡るマイクロツーリズムという流れです。まさにこの流れは、日帰り客をターゲットにした柴田町の観光戦略と軌を一にするものであります。

今後、四季折々に歩いて楽しい空間の整備などを図ることで、観光地としての



コミュニティーガーデン「花の丘 柴田」



JR品川駅自由通路の大型画面に映した柴田町の広告

魅力を高めるとともに、毎年多くのふるさと納税が寄せられている首都圏や関西圏を中心に、さまざまなPRチャンネルを使ってプロモーション活動を積極的に展開してまいります。

特に令和5年は、白石川堤に桜が植樹されてから100年の記念の年となります。大河原町と連携し、令和4年度と令和5年度において、記念キャンペーンを実施し、町内外にアピールしてまいります。

#### 5 行政のデジタル化と官民連携や広域連携の推進

10年先を見据えた持続的な町政運営のためには、行政のデジタル化による業務の効率化や職員のスキルアップ、さらに官民連携や広域連携に取り組んでいかなければなりません。行政のデジタル化の一步として、

1月からマイナンバーカードを使った各種証明書のコンビニ交付を開始しました。また、今後のワンストップサービスの第一弾として、「ご遺族手続き案内窓口」を町民環境課に設置しました。

柴田町が目指すデジタル社会の実現に向けて、デジタル技術やデータを活用し、行政サービスの利便性の向上や職員のICTのスキルアップが図られるよう、「(仮称)柴田町DX推進計画」の策定に着手してまいります。まず手始めに、行政手続のオンライン化やWEB口座振替受付サービスを導入し利便性の向上を図ります。

職員のICTスキルを磨きながら業務改善を行い、効率が上がった分、職員が本来担うべき役割である、一人一人の町民に寄り添い町民や地域の課題解決に積極的に向き合えるようにしてまいります。常に現場に

出向き、住民の声を聴くことを基本に、また、事業者や専門家とつながり、専門性とコミュニケーションスキルを磨いた上で、課題解決に向けての政策立案ができ、実行に移せる職員を育ててまいります。

柴田町における官民連携事業の先駆けとなった「(仮称)柴田町総合体育館」の建設については、1月に優先交渉権者が決まりました。民間事業者が体育館を整備し、町が建物を賃借して、維持管理と運営は民間事業者が行います。令和6年12月までに利用開始ができるように、設計業務のモニタリングを実施し、完成後は子どもからお年寄りまで使い勝手が良く、いざという時には、安全な避難所として活用できる総合体育館を建設してまいります。

今後、地方自治体が生きて残っていくためには、広域的な連携が大変重要になります。主な取組例とし

て、これまで柴田町がリードし、仙南地域の2市9町と民間団体などで立ち上げた「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」では、みやぎ蔵王を中心とした仙南地域の花園や自然、歴史文化、グルメ、レジャー施設などの魅力を全国にアピールしてきたところです。

今回、「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」がネームバリューの高い一流の観光地と肩を並べ、東北地域で初めて国土交通省の庭園間交流連携促進計画(ガーデンツーリズム登録制度)に認定されました。この認定をきっかけに、連携を強化し、仙南地域全体を見据えた広域圏の活性化と庭園文化の普及のために、柴田町が更なるリーダーシップを発揮してまいります。



改修工事が終了した役場庁舎



自石川千桜公園と蔵王連峰

## おわりに

役場庁舎や保健センターの改修工事は、3月末に完了しました。見違えるようになりにきれいで明るくなった庁舎は、職員はもとより町民の皆さまからも高い評価を得ています。

約12億円の起債事業となりましたが、有利な交付税措置が受けられる緊急防災・減災事業債や公共施設等適正管理推進事業債を活用したことで町の負担は少なくて済みました。機に乗じて庁舎の耐震化とリニューアルを判断して本当に良かったと思っております。

職員と共に心機一転し、アフターコロナの時代における柴田町の未来像であるガーデンシティ構想の実現に向けて、果敢にチャレンジしてまいります。

私自身、仙南地域全体を視野に入れ、ローカルに考えながらもグローバルに行動し、「シティマネージャー」として仙南地域の発展を牽引できるよう、リーダーシップを発揮してまいります。

当面、コロナ禍での町政運営となりますが、たとえ困難に直面したとしても、これまでの一貫した政治姿勢と行政経験や政策力をもつて着実に成果を上げていくことで、ガーデンシティ構想の実現といった柴田町の未来像に対する町民の理解を深めてまいります。

※施政方針の全文は、町ホームページに掲載しています。

問 まちづくり政策課

TEL 54-2111

# 令和4年度

# 予算の概要

閩財政課 Tel 5512278

令和4年度当初予算が、柴田町議会3月会議で成立し、一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計を合わせた予算総額は、前年度比7%増の251億1,698万円となりました。

## 一般会計 歳入の状況

歳入において、自主財源の根幹をなす町税は、前年度比4,082万円増の41億7,453万円を見込み、歳入全体の30.2%となっています。

地方交付税は、国の地方財政対策を考慮し、3億600万円増の28億5,900万円を見込み、全体の20.7%を占めています。

地方消費税交付金は、消費税が回復傾向にあることから、9,700万円増の8億8,600万円を見込んでいます。

※千円以下は端数調整しています。

町債は、大規模工事が完了したことや令和3年度の国の補正予算により、事業を前倒しで実施できたことで、昨年度比40.7%減の5億9,450万円となりました。

## 一般会計 歳出の状況

伸び率が一番大きいのは衛生費です。新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業を盛り込んだこと、みやぎ県南中核病院や仙南地域広域行政事務組合の柴田斎苑にかかる負担金が増えたことにより、前年度より約3億2,000万円増の15億6,869万円となっています。

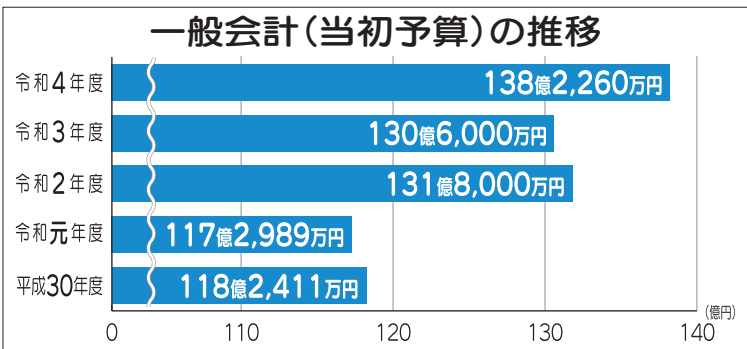
また、民生費では、社会保障経費が年々増加傾向にあることや、コロナ禍で受診を控えていた子どもの医療費が令和4年度には増える見通しとなることから、約2億2,000万円増の43億8,618万円となります。

令和元年度に実施した小中学校における空調設備整備工事の元金償還が始まることなどにより、公債費が約9,562万円の増となりました。

## 令和4年度予算の内訳

会計区分	令和4年度	前年度比
予算総額	251億1,698万円	7.0%
一般会計	138億2,260万円	5.8%
特別会計	75億8,809万円	3.8%
国民健康保険事業	40億4,276万円	7.3%
介護保険	30億2,995万円	△1.3%
後期高齢者医療	4億6,565万円	9.4%
土地取得	4,973万円	1.3%
水道事業会計	14億7,601万円	12.2%
下水道事業会計	22億3,028万円	24.8%

## 一般会計(当初予算)の推移





## 歳出の性質別分類

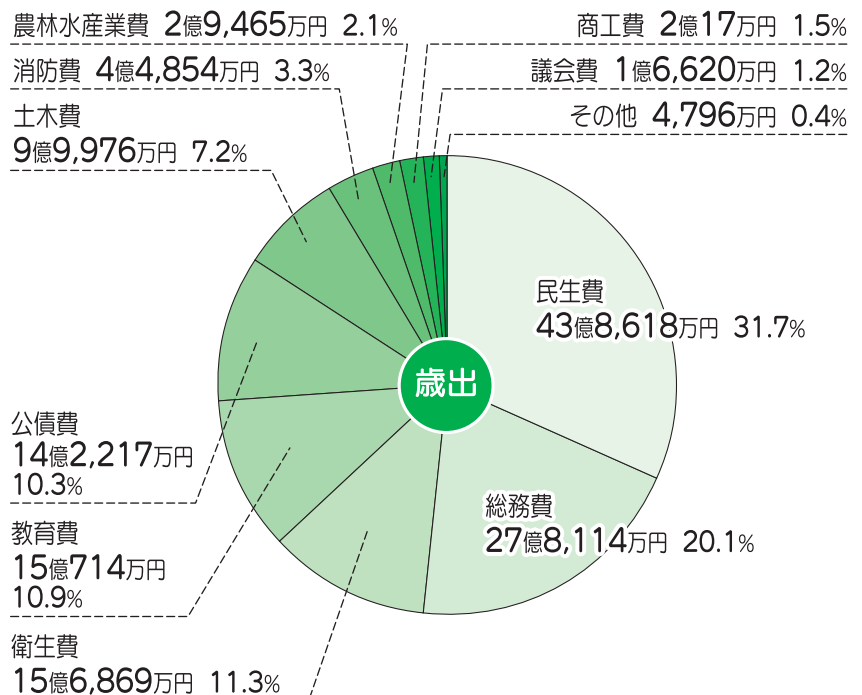
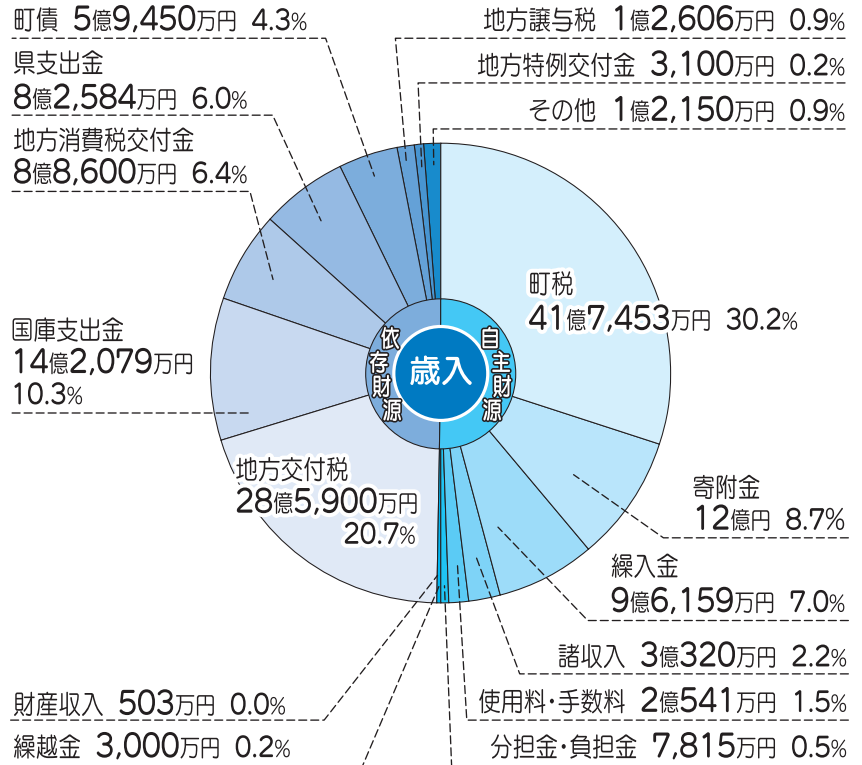
区分	令和4年度	前年度比
人件費	28億3,240万円	2.4%
補助費等	26億2,597万円	10.2%
物件費	23億6,462万円	3.1%
扶助費	18億7,137万円	5.4%
公債費	14億2,217万円	7.2%
繰入金	12億7,297万円	2.8%
積立金	5億8,602万円	24.4%
投資的経費	2億8,027万円	△32.6%
維持補修費	2億4,162万円	273.5%
出資金	2億3,519万円	△0.2%
貸付金	6,000万円	0.0%
予備費	3,000万円	0.0%
合計	138億2,260万円	5.8%

## 町民一人当たりで見ると 一般会計予算

(令和4年3月1日現在の人口37,172人で試算)

町民一人当たりの町税負担額	112,303円
固定資産税・都市計画税	59,462円
町民税	44,007円
町たばこ税	5,939円
軽自動車税	2,895円
町民一人当たりに使われるお金	371,855円
民生費	117,997円
総務費	74,818円
衛生費	42,201円
教育費	40,545円
公債費	38,259円
土木費	26,895円
消防費	12,067円
農林水産業費	7,927円
商工費	5,385円
議会費	4,471円
その他	1,290円

# 令和4年度一般会計予算 138億2,260万円





# さくらに込めた願い

町が薄紅色に色づく、桜の季節がやってきました。今年も新型コロナウイルス感染症の流行によって、残念ながら中止となってしまった桜まつり。まつりとして賑わうことはできませんが、今は静かに桜を楽しんでください。

来年は白石川に桜が植樹されてから100年の記念の年です。きっと先人たちは、この桜を見て後世の人たちに喜んでほしいとの願いを込めて、桜を植えたのでしょう。

100年を迎える時には、町を見守り続けてきた桜の下で、笑い合いながら、その記念を祝うことができたいと思います。

広 告

広 告

## 船岡城址公園

公園の麓から山頂まで、約1,300本以上の桜が咲く「船岡城址公園」。その多くはソメイヨシノですが、早咲きのおかめ桜や、遅咲きの大山桜などもあり、長い期間桜を楽しむことができます。

山頂への遊歩道が新しく整備され、今までとは違う風景を見ることができま

す。途中にある東屋やベンチでは、心地よい風に吹かれ、ゆっくりとした春を感じることもできます。



広 告

広 告

白石川河川敷・白石川千桜公園

船岡から大河原町にかけて約8kmの間に1,200本もの桜が続き、「一目千本桜」と称されています。

JR船岡駅から大河原町へ向かって、桜並木を歩いた先に待つのが「白石川千桜公園」。

残雪を抱く蔵王連峰を背景に、桜とレンギョウのコントラストが楽しめます。

桜が散り始めると、公園内の小川の水面に桜の花びらが流れる「花筏」が見られるかもしれません。



広 告

広 告

# まちかど NEWS



一人一人に卒業証書が手渡されました。

## 思い出と希望を胸に 小学校卒業式



中学校での新生活が皆さんを待っています。

3月18日(金)、町内の各小学校で卒業式が行われました。式では卒業児童の皆さんが、入学してから卒業までの思い出、保護者や先生方への感謝の言葉を述べ、6年間過ごした学び舎を巣立っていきました。

槻木小学校の嶋中校長は、「素直に心を開くこと、時間をかけて物事に取り組むこと、そして周りから支えられていることに感謝すること、この三つを胸に、自分の未来を切り開いてほしいと思います」と述べられました。

## クリスマスローズ展示即売会

NEWS



約900鉢のクリスマスローズがほぼ無くなるほど大盛況でした。

2月25日(金)から27日(日)まで、観光物産交流館さくら里で、クリスマスローズの展示即売会が開催されました。

冬の貴婦人の愛称で親しまれ、人気が高まっているクリスマスローズ。展示即売会にも多くの方が訪れ、一鉢一鉢手に取りながら、好みのクリスマスローズを買い求めていました。

仙台市から訪れた方は、「お庭に植え替えて、株を大きく育てたいと思います」と話してくれました。

広 告

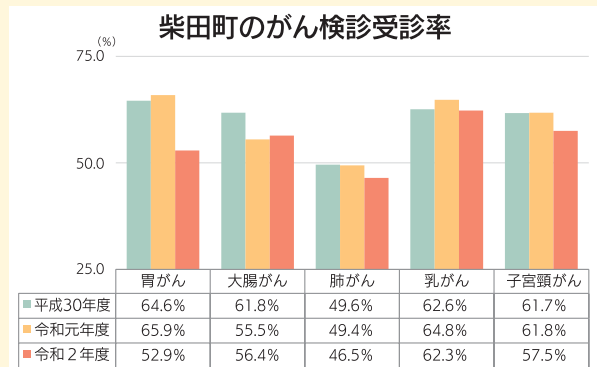
広 告



## 第89回のテーマは、「コロナ禍でもがん検診を受けよう」です。

新型コロナウイルス感染症の流行による外出の自粛によって、全国的にがん検診を受ける方が減っています。

柴田町でも、感染症が流行する前の平成30年度と、令和2年度を比較すると、受診率が減少傾向にあります。特に、胃がん検診では10%以上の減少が見られました。



### がんは2人に1人がかかる身近な病気です

日本人が一生のうちに、がんと診断される人の割合は、男性65.0%、女性50.2%と、2人に1人以上の方が、がんに罹患しています。また、男性26.7%（4人に1人）、女性17.8%（6人に1人）は、がんが原因で死亡しています。

がんは、検診を定期的に受診し、早期発見・早期治療することにより、多くの方が助かる病気です。しかし、コロナを理由に検診の間隔が空いてしまうと、がんが進行した状態で見つかる可能性が高くなります。

### まずは、がん検診を申し込みましょう

町が実施している胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん検診は、「死亡率減少効果が科学的に証明された」有効ながん検診です。がん検診を受けるかどうか迷っている方も、まずは申し込みを行いましょう。受診票が届いてから受けるかどうか決めてもかまいません。

がん検診に限らず、健康を維持するための通院や各種検査の受診などは、不要不急の外出ではありません。検診会場では感染症対策を講じていますので、安心してお越しください。

#### 町のがん検診の対象者

- 胃がん、大腸がん、肺がん／40歳以上の方
  - 子宮頸がん／20歳以上の女性の方
  - 乳がん／30～39歳、40歳以上の奇数年齢の女性の方
  - 前立腺がん／50～79歳の男性の方
- ※年齢は令和5年4月1日時点

#### がん検診スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
胃			子宮		肺					乳	
			大腸・前立腺								

図 健康推進課 TEL55-2160



## 私たちとSDGs 連載⑦

問 まちづくり政策課 TEL54-2111

### ゴール7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

日本では当たり前に行うことができる電気ですが、世界に目を向けてみると約8億人もの方が、いまだに電気を使用することができません。生活に無くてはならない電気も、一方で火力発電などで排出される二酸化炭素は地球温暖化の原因と言われており、太陽光や風力などの「再生可能エネルギー」の利用が推進されています。

無駄なエネルギー消費を抑えるため、日ごろから不用な照明を消すなどの節電に取り組みましょう。



こうほう 文芸

短歌

朝霜にクリスマスローズの葉の群れは  
みずからなびきて蕃を庇護す 船岡 つかのめけい子  
スマホデビュー電話メールじゃもつたいない  
機能満載楽しさ倍に 西船迫 下浦 智子  
春の雪椿枝葉に積もる雪  
見上げる花に蕾綻ぶ 槻木 平間 三郎  
幸せは変わらぬ日々の積みかさね  
しみじみ思ふ震災の後 船岡 可沼 妙子  
福寿草斜面の落葉その下に  
そっと覗かせ黄の花の咲く 槻木 白石 光子  
墓石の父の年越え喜寿となる  
戦場をくぐった人だった 四日市場 鳥井崎  
春さがしいつもの坂道きつても  
ゆっくり歩けばおいしい空気 西船迫 安ヶ平良三

別れの日夕陽さんさん輝いて  
友の慈愛に包まれているよう  
福鬼も老老りで豆撒く部屋中に  
免疫力が「チョッピリ」上がる 船岡 伊藤タイ子  
しんしんと雪降り想う悔恨の  
心の涙胸を流れる 西船迫 OOK  
キャベツの芯水に浸せし窓際に  
二十センチ丈に菜の花の咲く 西船迫 星 裕子  
体たらく国際司法裁判所  
怒りないのかロシアの悪に  
友だちに走り負けたと悔しそう  
買って上げるか孫に自転車 本船迫 三澤 精一  
勤務終え時折寄りし本屋さん  
ベレー帽よく似合う店主なつかし 船岡 沢田 順子

川柳

子も孫も遠くなり家に雛二体 北船岡 日下 功  
喜寿すぎた終活急げとせかされる 四日市場 鳥井崎  
どっちでもワクチン早く3回目 西船迫 安ヶ平良三  
大国にしたいが為になぜ戦争 槻木 村上 紫寿  
恋心涙でつつむいとしさよ 西船迫 OOK


口あけて目薬点すと命中す 船岡 阿部美代子  
メモとつてメモとりすぎて紙ゴミへ 船岡 小林 夢子  
咲いてたの庭の片すみ福寿草 槻木 加藤 節子  
ひな祭り孫嫁ぎ蔵入りす 槻木 永井 貞子

俳句


桜芽も三寒四温に迷いけり 槻木 平間 三郎 書店消ゆされど書棚のあたたかし  
コロナ禍で一人炬燵で書を開く 船岡 可沼 妙子 亡き友を思い浮かべし春帽子  
春の夕フードコートに赤い靴 船岡 安藤 節子 好きな道好きに歩けり梅日和  
平和とは思いいぐねて桜餅 西船迫 安ヶ平奈津枝 ふくら雀弾むリズムの和みかな  
風花に風やはらかくなりけり 中野西範子 こころにも視野あり春の雲より詩  
足跡は雀らの文学春の雪 石垣テル子 降る雪と話せば時はまぼろしに  
伸ばす手は君を探して冬銀河 制野 千秋 花明かり汝と出逢える道標  
雪嶺のいよよ極むる空の青 遊佐 徹 お雛さまいくつになっても飾りをり 船岡 沢田 順子

山家美智子  
三塚 直樹  
及川美沙子  
若月ノリ子  
大久保和子  
浪山 克彦  
飛鳥

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで4月11日(月)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 Tel.54-2111

 **柴田町 LINE 公式アカウント**

イベントや防災・防犯情報など、  
生活に役立つ情報をお届けします。  
二次元コードを読み取り、友だち追加してください。  
問まちづくり政策課 Tel.54-2111



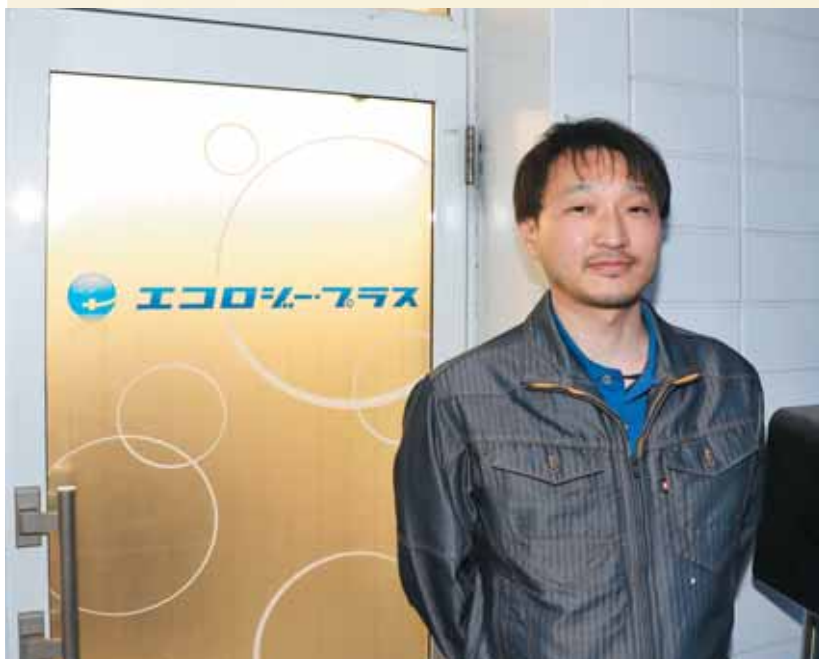
**告 白**

## 社員を増やし会社を 今よりも大きくしたい

エコロジー・プラス

長田 慎也 さん (46歳)

今回は、住宅のハウスクリーニングやビル、オフィスの清掃などを手掛けるエコロジー・プラスの長田慎也さんを紹介합니다。



10年以上に渡り、ハウスクリーニングなどの清掃に関する仕事をしてきた長田さん。その経験を買われ、エコロジー・プラスの立ち上げの際に、清掃の技術アドバイザーとして協力をしていたそうです。それがきっかけとなり、エコロジー・プラスへ入社しました。

会社では長年の経験を生かし、ハウスクリーニング全般、ビルメンテナンス、店舗の床や窓、レンジフードの清掃作業から現場管理など、多岐に至る業務を担当しています。

「清掃の依頼は、ご家庭やオフィスなどさまざまな場所からいただきます。汚れの種類も多種多様なため、場所や汚れに応じた薬剤の選択が重要になります」と話します。

仕事をする上で心掛けていることを伺うと、「仕事に慣れが出てしまわないように気を付けています。やったつもりになっても、最後に必

ず基本に立ち返り、作業に漏れがないか見直しをしています。部下には仕事の基本は教えて、それ以外にはあまり口を出さないようにしていますが、この見直しだけは必ずさせるようにしています」と話してくれました。

清掃は、目に見えてきれいになったと成果が出るものである一方、きれいの感覚は人それぞれ違うところに難しさがあると言います。「お客様の予想よりきれいに仕上げることで満足していただけたときが、仕事をやっていての喜びであり、やりがいです」と話してくれました。

プレイングマネージャーでもある長田さんは今後について、社員を増やし会社を今よりも大きくしていきたいと将来を見据えています。その目標に向かって、これからも頑張ってください。



エアコンのクリーニングを行う長田さん。



**エコロジー・プラス**  
柴田町大字船岡字神山前58-1  
TEL 57-1567  
平成30年設立。住宅やアパートからビル、商業施設まで幅広く清掃業務を行うほか、浄化槽の管理も手掛ける。  
従業員6人

**人口と世帯数**  
(令和4年3月1日現在)



37,172人  
(前月比56人減)



18,525人  
(前月比38人減)



18,647人  
(前月比18人減)



16,078世帯  
(前月比26世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。